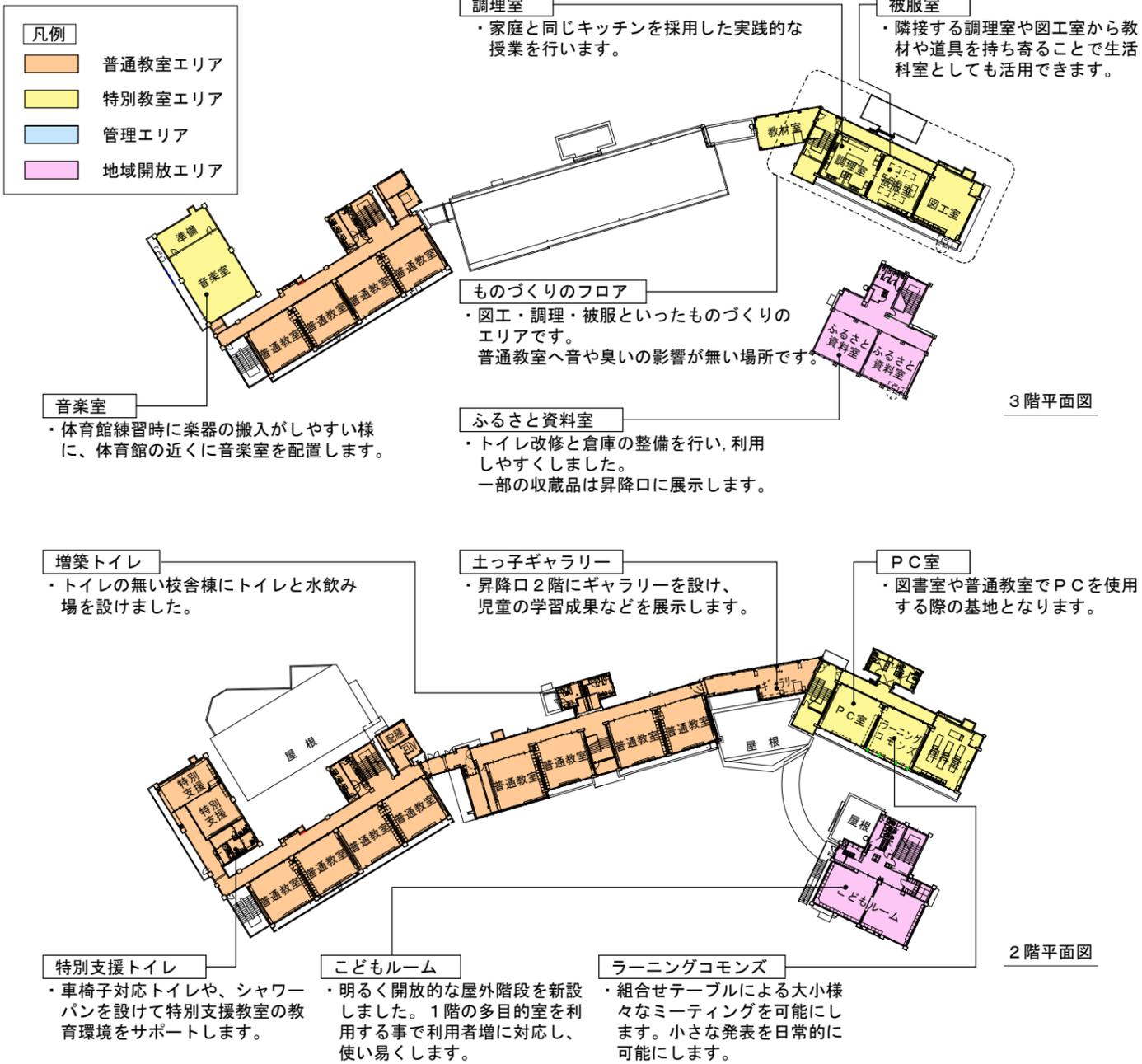


配置計画



(仮称) 柏市立土小学校校舎長寿命化改良工事



建物概要		校舎棟		約 3,832.59	約 4,530.87	構造種別	地上3階建て 鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造	
改良工事	校舎棟	1~3校舎(教室棟)	約 3,832.59	約 4,530.87	約 4,530.87	建物高さ	11.83m	
施設規模	校舎棟	4校舎(地域交流棟)	約 698.28			所要諸室	校舎棟	
	渡り廊下	給食室-配膳室間1	約 15.00				普通教室:普通教室(16クラス)	
		給食室-配膳室間2	約 9.67				特別支援教室(4クラス)、多目的室	
		体育館-校舎間	約 110.56				特別教室:図書室、PC室、ラーニングcommons、理科室	
		3校舎-4校舎間	約 51.79				調理室、被服室、図工室、音楽室、準備室	
	防災倉庫			約 187.02			管理諸室:職員室、事務室、校長室、更衣室、放送室	
	倉庫その他			約 34.80			印刷室、保健室、児童会室兼相談室、教材室	
計画外	屋内運動場			約 720.18		地域交流棟	PTA室、サロン、多目的室、こどもルーム	
施設規模	給食室			約 262.15			ふるさと資料室	
	プールポンプ室			約 17.50		防災備蓄倉庫	渡り廊下	
合計				約 5,865.70		エレベーター	1台(11人乗りバリアフリー対応)	
						その他	外構	

施工	
建築	小倉・太田特定建設工事共同企業体
電気設備	会田・城山特定建設工事共同企業体
機械設備	岡田・公友特定建設工事共同企業体
太陽光設備	会田電業株式会社
外構	山石工業株式会社
体育倉庫	株式会社助川工務店
設計・監理	株式会社千都建築設計事務所

工期
基本計画方針 平成29(2017)年度
基本実施設計 平成30(2018)年度
建築工事 令和元(2019)年度~令和2(2020)年度



計画の要点

《学びあいのできる子が育ちます》

- ICT環境の充実で新しい学びのスタイル
校内無線LAN整備でタブレット機器が使用可能
- 主体的・対話的で深い学び
UDスライダー付大型ホワイトボード、側面背面ホワイトボードで表現するスペースが増える
- ユニバーサルデザインで誰もが学びに参加



1 施設の目指すべき姿

- 【未来の学び】** 学習環境・生活環境の向上
将来の学習をふまえた教室の設え、普通教室の集約化
- 【安全性】** 防犯対策・防災対策への考慮
職員室を中心とした教室配置
体育館付近への防災備蓄倉庫移設、移動式発電機を配置した電力供給
- 【バリアフリー】** インクルーシブ教育への対応
エレベーター、スロープ設置
特別支援教室隣接の充実した多目的トイレ、トイレ設置の適正化
- 【歴史・伝統】** 土小学校らしいワクワクする学校づくり
図書活動をより発展させるメディアセンターの充実
郷土資料を展示したつちむらギャラリーを創設
百年桜の景観を生かした正門・アプローチの整備
- 【地域】** 地域とともにある学校づくり
学校とともに地域交流団体が活動できるスペースを配置

2 建物の長寿命化改修項目

改修後40年間使用するための改修

- (1) 構造体の長寿命化(コンクリートの中酸化対策)
- (2) 耐久性の高い材料による改修
外装材、ワックスフリーの床材
- (3) 維持管理や設備更新の容易性確保
ステンレス受水槽、メンテラック天井(廊下)、配管等の長寿命化
- (4) 省エネルギー対策
LED照明、屋根及び外壁の断熱化、ペアガラス、太陽光発電設備(10kw)
- (5) 防災対応
発電機[1.6kw]並びに太陽光(自立運転時)[3kw]用の災害時専用コンセント

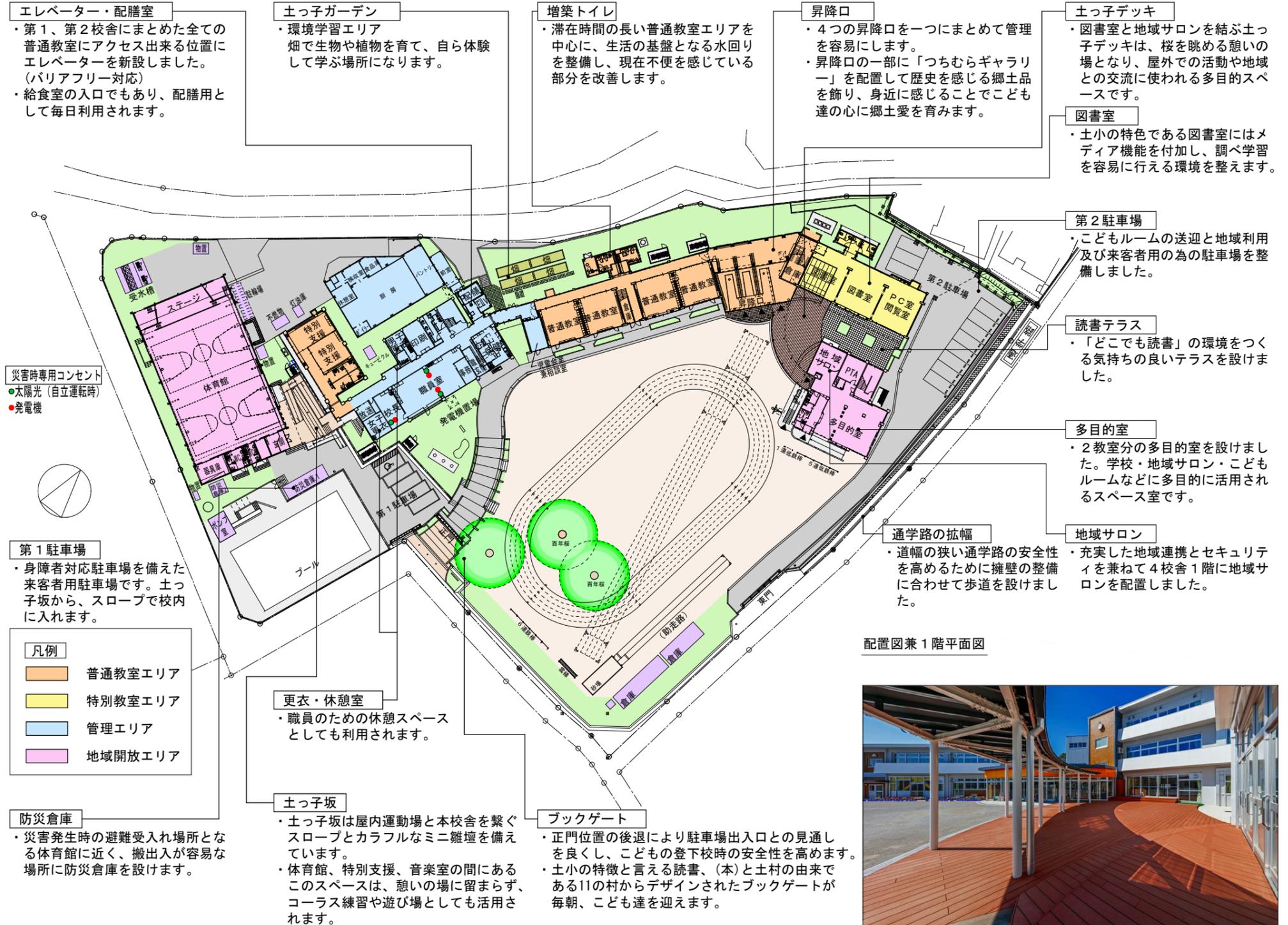
3 工事範囲

- (1) 校舎全体の長寿命化改修及びエレベーター棟、トイレ棟、昇降口棟の増築
- (2) 不要となった機械室など付属棟を解体し、駐車場など外構の再整備

4 事業費

約14.8億円(仮設校舎含む)

配置計画



配置図兼1階平面図



土っ子デッキ



楽しいスロープ(土っ子坂)



百年桜をのぞむブックゲート(正門)



昇降口のつちむらギャラリー